

UNIVERSITY CONSORTIUM KYOTO

No. 39
2010.10



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto
URL <http://www.consortium.or.jp>

特集 1

大学コンソーシアム京都
公益財団法人への移行認定

特集 2

大学コンソーシアム京都のあゆみ

・輝く学生応援プロジェクト・
キャンパスプラザ京都1階「学生の活動拠点」のご紹介

・大学の新たな一歩・
新設学部・学科のご紹介

TOPICS

Information

大学コンソーシアム京都は 財団法人から公益財団法人へ移行しました。

大学コンソーシアム京都は、このたび2010(平成22)年6月28日付けにて内閣総理大臣から「公益財団法人」として認定を受けたことに伴い、2010(平成22)年7月1日をもって「公益財団法人大学コンソーシアム京都」へ法人格が移行いたしました。

2008(平成20)年12月に、公益法人制度改革関連3法が施行されたことに伴い、本財団ではどのような法人組織がふさわしいかを検討してまいりました。その結果、社会的な信用を継続できると同時に、税制上の優遇措置を受けられる「公益財団法人」が最も適切であるとの結論に達し、昨年8月から申請手続きをおこなってきました。理事長は引き続き、八田英二同志社大学学長を選任いたしました。

本財団は、1994(平成6)年設立の「京都・大学センター」を前身としています。現在、京都地区の50大学(国立大学:3校、公立大学:4校、私立大学:43校)と京都市、4経済団体(京都商工会議所、京都経営者協会、社団法人京都経済同友会、社団法人京都工業会)から構成される団体で、日本で最初の大学コンソーシアム組織です。

1998(平成10)年には、文部大臣(当時)より財団法人の認可を受け、単位互換や生涯学習などの「教育事業」、高校と大学の接続教育を目的とする「高大連携事業」、教職員の職能開発・意識改革と高校教育の質の向上を目指した「高等教育研究推進事業」等の他、産・官・学・地域が連携した事業等を実施し、各大学や地域社会等の発展に寄与してきました。

今後も、京都地域を中心に大学間連携と相互協力を行いながら、加盟する大学・短期大学の教育・学術研究水準の向上を目指すとともに、学生の成長を促進するための学生支援、大学の国際化を推進するための国際連携・国際協力等の充実に努めていきます。併せて、地域社会、行政及び産業界との連携を推進し、地域の発展と活性化に努め、京都地域を中心とした国際教育の発展と国際社会をリードする人材の育成を目指します。多様な連携にもとづく教育、学生支援、研修、調査・研究、情報収集、情報発信、交流促進等を行い、日本の高等教育の発展に寄与していきたいと考えています。





大学コンソーシアム京都のあゆみ

公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

京都は歴史的に、高度で多様な学問分野を有する大学が集まっており、歴史的な文化遺産も多いため、国際的な学术交流事業や多彩な学生交流などを構成要素とする「大学のまち」です。人口で表すと、京都市人口約150万人弱のうち約1割の15万人弱が学生が占め、京都府以外からの出身者は約8割を占めています。教員数も約1万5千人で、全国19政令指定都市のトップです。

「公益財団法人大学コンソーシアム京都」が設立された背景には、文部省(当時)による学部学科の設置制限と京都に立地することによる建物の制約などから、大学の市外流出が相次ぎ、1992(平成4)年7月に、京都市は「京都の大学の現状と動向に関する調査」をまとめ、京都に大学があることで生まれる経済的効果は、年間約3,300億円強に上り、京都市の市民所得の約1割に当たるという見積りを発表しています。大学が市民の生涯学習やリカレント教育の場となることで、社会的・文化的な地域交流に大きな貢献をしている証左と言えるでしょう。

1992(平成4)年10月には、「大学のまち・京都21プラン策定委員会」が発足しました。1993(平成5)年3月に、上記のことを受けて「大学のまち京都・21プラン」が京都市により策定され、1993(平成5)年7月には、「大学センター設立推進会議」が発足(40大学・短期大学)、1994(平成6)年3月に45大学・短期大学と京都府・京都市の二つの自治体が参加して、本財団の前身である「京都・大学センター」が設立されました(京都市内の全ての公立・私立大学・短期大学45校と京都府・京都市)。その後、

1998(平成10)年3月に文部大臣(当時)より「財団法人大学コンソーシアム京都」の設立認可を受け、「京都・大学センター」から「財団法人大学コンソーシアム京都」に名称を変更し、1994年から2003年までは基盤整備をめざした第1ステージプランと位置付け、活動を行ってまいりました。また、2004年から2008年までは、事業拡大・推進をめざした第2ステージプランとしての事業を実施してきました。2009年度からは事業精査の改革を旗印にした第3ステージプランを実行しています。2010(平成22)年6月28日内閣総理大臣から「公益財団法人」として認定を受けたことに伴い、2010(平成22)年7月1日をもって「公益財団法人大学コンソーシアム京都」となり新たなスタートを切りました。

2000年より、活動拠点としてきた「京都市大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)」も、今年で10周年を迎え、2010年9月5日に盛大な開館10周年記念式典を開催しました。こうした、ハード・ソフトの両面において、充実した組織として、なお一層の事業推進に繋げて行きたいと考えております。



キャンパスプラザ開館10周年記念式典の様子



キャンパスプラザ1Fに新たな空間が出現 ～新しいヒト・コトに出会える場所～

2010年6月13日、キャンパスプラザ京都1Fに「学生の活動拠点(仮称)」がオープンしました。

これは、京都市の「輝く学生応援プロジェクト」の一環で、学生による京都のまちの活性化につながる活動や社会に貢献する活動を支援することを目的に設置されました。この拠点の大きな特徴は、その名のとおり学生団体の活動拠点として整備された環境です。学生が大学の枠を超えて行く、京都のまちの活性化につながる活動や社会貢献活動に対して、ミーティングスペースや活動に必要な備品等の貸出し、活動に必要な様々な情報や市政情報の提供、学生の活動内容等の情報発信を行っています。

また、別の分野で活動する学生が、交流する機会の提供やコーディネーターによる相談や活動への助言も行っています。さらに、スキルアップワークショップや、学生の活動に対する助成事業、学生の活動と地域のニーズとをマッチングする「むすぶネット」を実施するなどして、総合的に学生の活動をサポートしています。毎月15日に実施する交流プログラム「Ima～つどう・つながる・ひろがる～」では、学生が学生と、また新たな活動と出会うキッカケ作りの場を目指しています。

これらの取り組みを通して、学生が他団体の活動を知ることで自らの視野が広がったり、活動の幅が広がったり、新たな活動が生まれたり、相互に影響を与えながら切磋琢磨することで、京都のまちがより活性化されることが期待されます。活動を通じて社会や地域への貢献を目指す学生の皆さん、「学生の活動拠点(仮称)」をミーティングや情報収集、団体同志の交流や相談の場としてぜひご利用ください。



輝く学生応援プロジェクト 「学生の活動拠点(仮称)」名称募集!

学生ならではのアイデアや取り組む活動への思い、この場所への期待が盛り込まれた名称をお待ちしています。

募集期間 8月19日～10月12日消印有効

応募方法 下記HPの応募用紙に必要事項を記入し、持参、もしくは郵送、E-mail、Fax、ホームページからの投稿のいずれかの方法で応募してください。

学生の活動拠点(仮称)



オープン時間	火曜日～日曜日 9:00～21:30
コーディネーター 対応時間	火曜日～土曜日 14:00～21:30 日曜日 9:30～17:00
場所	京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都1階 (地下鉄、JR京都駅前)
電話番号	075-353-3107(受付はコーディネーター対応時間のみ)
FAX番号	075-353-3108
E-mail	info@kagayaku.st
URL	http://sites.google.com/site/kagayaku10/

常に進化する大学の新たな一歩

2011(平成23)年度より、大学コンソーシアム加盟大学・短期大学のうち下記の大学・短期大学で、学部・学科の新設がおこなわれる予定ですので、ご紹介します。
これにより京都のまちに新たな学びの場が創出され、より大きなパワーをもたらしてくれる新たな契機となるでしょう。

京都華頂大学(大学の施設)

<http://www.kacho-college.ac.jp/>

現代家政学部 現代家政学科 児童学コース

現代家政学部 現代家政学科 ライフデザインコース

現代家政学部 現代家政学科 人間福祉学コース

華頂短期大学

<http://www.kacho-college.ac.jp/>

人間健康福祉学科 健康食育コース

人間健康福祉学科 児童福祉コース

人間健康福祉学科 介護福祉コース

京都光華女子大学

<http://www.koka.ac.jp/index.html>

健康科学部 看護学科

京都嵯峨芸術大学

<http://www.kyoto-saga.ac.jp/>

芸術学部 造形学科 メディアアート分野

芸術学部 デザイン学科 イラストレーション系

芸術学部 デザイン学科 メディアデザイン系

芸術学部 デザイン学科 生活デザイン系

芸術学部 デザイン学科 観光デザイン系

短期大学部 マンガ分野

京都女子大学

<http://www.kyoto-wu.ac.jp/>

法学部 法学科

京都精華大学

<http://www.kyoto-seika.ac.jp/index.php>

デザイン学部 プロダクトデザイン学科 プロダクトコミュニケーションコース
(プロダクトコミュニケーションデザインコースから改編)

デザイン学部 プロダクトデザイン学科 ライフクリエイションコース
(インテリアプロダクトデザインコースから改編)

京都造形芸術大学

<http://www.kyoto-art.ac.jp/>

芸術学部 マンガ学科

芸術学部 プロダクトデザイン学科

芸術学部 文芸表現学科

京都文教短期大学

<http://www.kbu.ac.jp/kbjc/>

ライフデザイン学科

食物栄養学科

同志社大学

<http://www.doshisha.ac.jp/>

グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科 英語コース

グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科 中国語コース

グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース

龍谷大学

<http://www.ryukoku.ac.jp/>

政策学部 政策学科

龍谷大学短期大学部

<http://www.human.ryukoku.ac.jp/index.php>

社会福祉学科 社会福祉コース

社会福祉学科 教養福祉コース

こども教育学科

(9月22日現在調べ)

高等教育研究推進事業部

高等教育研究事業

2010年度大学職員共同研修プログラムを実施しました。

プログラム名	開講日	対象	参加人数
ビジネスマナー研修(基礎)	3/24(水) 25(木) 26(金) 6/11(金)	新任者	114人
コミュニケーション・自己表現研修	8/3(火)	勤続3年以上	39人
ロジカルシンキング研修	8/5(木)	勤続3年以上	55人
会議の進め方研修	8/6(金)	中堅職員以上	28人
マネジメントマインド・基礎研修	9/2(火)	勤続3年以上	38人



総務・広報部

全国大学コンソーシアム協議会

第7回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

- 【日時】平成22年9月11日(土)~12日(日)
- 【場所】大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
- 【主催】全国大学コンソーシアム協議会
- 【メインテーマ】「人材育成の新たな地平 大学コンソーシアムの挑戦」
- 【参加者数】合計:352名(講師など含む)
- 【基調講演】「企業が求める人材 - 大学教育に期待するもの -」
山中 諄氏(社団法人 関西経済同友会代表幹事 南海電気鉄道株式会社 取締役会長兼CEO)
- 【シンポジウム】竹山修身氏(堺市長)
藤原章夫氏(文部科学省 高等教育局大学振興課長)
飯吉弘子氏(大阪市立大学准教授)
- 【コーディネータ】奥野武俊氏(大阪府立大学長)

【分科会参加人数】

1日目	第1分科会	学生活動を通じた人材育成	200人
	第2分科会	ご当地検定や地域学など地域活性化等	56人
	第3分科会	地域連携	80人
2日目	第4分科会	高大連携	88人
	第5分科会	女子大学・短期大学の特色ある取り組み事例発表	41人
	第6分科会	ネットワークを戦略的に活用した能力開発	84人



◆ 京都の大学「学び」フォーラム2010

京都の大学「学び」フォーラムとは、京都の大学・短期大学が集まり、高校生や受験生のみならず各大学の特色ある模擬講義や体験型講座等を受講し、興味のある学問分野をひと足先に体験するイベントです。今後の学習意欲が高まり、みなさん自身の将来像もよりくっきりと見えてくる機会です。

京都会場 開催日 2010年10月30日(土) 9:00~15:00
会場 大谷大学(地下鉄烏丸線「北大路」駅前)

◆ 第2回ノートテイク養成講座(初心者編)

現代社会では、障害の有無に関わらず、ともに生活できる社会を目指すため、さまざまな制度や環境の整備が進められています。そのような状況の中で、手話や点字、そして要約筆記などは「情報保障」の活動にとって非常に重要な支援技術となっています。

また、大学においても近年、障害をもつ多くの学生が学んでおり、講義における「情報保障」が求められています。その中でも、代表的といえるものが、講義の情報を聴覚障害学生に伝えるための「ノートテイク」です。

今回、多くの大学で求められている聴覚障害学生の「情報保障」をおこなうノートテイクを養成するために、「ノートテイク養成講座」を開催します。

学生が学生同士で支えあい、学びあう環境を作るため、そして大学で学ぶすべての権利を保障するための一歩としてノートテイクに取り組んでみませんか?

開催日 10月15日(金) 18:00~20:30<予定>

会場 京都橘大学 清史館 821教室
(京都市営地下鉄東西線「柳辻(なぎつじ)」下車、徒歩15分)

主催 京都市福祉ボランティアセンター
公益財団法人大学コンソーシアム京都

協力 京都市要約筆記サークル「かたつむり」
ノートテイクプロジェクト(NTP)

申し込み・問い合わせ 京都市福祉ボランティアセンター
TEL:075-354-8735 FAX:075-354-8738
E-mail:v.info@hitomachi-kyoto.jp

◆ 京都学生アートオークション 出品者募集中

京都学生アートオークションは、京都の芸術系大学で学ぶ学生の作品がオークションで評価を受けるという全国的にも画期的な事業です。

しかし、その目的は学生が卒業後アーティストとして活動するためのキャリア教育にあります。アート市場の仕組みや作品プレゼンテーションのノウハウなどをテーマとした連続講座を受講し、出品選考会を通過した作品のみが出品できます。

本事業が、学生と社会との接点を創出する機会となると共に、京都の地でアーティストを育てる仕組み、さらには新たな市場を生み出す契機となることを目指しています。

連続講座

【回】	【日時】	【テーマ・講師】
募集申 8回・9回	10月16日(土) 18:30~21:00	「プレゼンテーション(演習)」 島先京一氏(成安造形大学講師)

プレビュー展示 2011年2月8日(火)~13日(日)
京都駅前地下街 ポルタプラザ

オークション 2011年2月13日(日)15:00開始
京都駅前地下街 ポルタプラザ

補講 京都学生アートオークション(2010年度)連続講座の補講(e-ラーニング)を実施します(第8・9回を除く)。事前申込制ですので、受講を希望される方は、下記よりお申し込みください。

【宛先】art@consortium.or.jp
【件名】KSAA連続講座の補講申込
【本文】お名前・大学名・回生
連続講座をすべて受講することが、
オークションへの出品条件となります。

◆ 第8回SD(スタッフディベロップメント)フォーラム

全国の大学職員の研修・交流の場として「SDフォーラム」を開催しています。8回目を迎える今年度は、組織としての成果を考えるキーワードとして「協働」に注目し、全体のテーマを「『協働』から生まれる職員の能力開発」と設定。基調講演に続いて、6つの分科会を設け、教職協働・地域協働(連携)・職職協働について、先進的な取り組みを行っておられる大学より事例報告を受け、大学における協働が切り開く職員能力向上の可能性について多角的に検討します。また、各分科会で参加者全員が交流できる機会を設け、SDフォーラムで得られた成果を今後の個別大学・短期大学における人事政策や人材育成に活かしていくことを目指します。



テーマ 「協働」から生まれる職員の能力開発
開催日時 2010年10月17日(日) 10:00~17:30
会場 キャンパスプラザ京都
 (既に定員充足のため追加のお申し込みはお受けできません。)

◆ 京都学生芸術作品展2010 Arts Bar@Rissei

京都学生芸術作品展2010は、京都地域で芸術文化を学ぶ11大学の学生による合同作品展です。まさに、多くの大学が集積する「大学のまち 京都」ならではの展覧会といえます。絵画、彫刻から工芸、デザイン、建築、いけばなや書にいたるまで幅広い分野の作品を展示し、芸術表現の多様性をご覧いただけると同時に学生の創作活動の将来性を感じられる機会となっております。

また、会場となる木屋町の元・立誠小学校は、地域の人々が集う魅力あふれる場所です。学生の作品とともにその展示空間も合わせてお楽しみいただければ幸いです。

本展のタイトルである「Arts Bar」は、まるでサラダバーやドリンクバーのように好きな作品を好きなだけ自由に味わっていただける展覧会になることを願い各付けました。来場者の投票でオーディエンス賞を決定する参加型であることも、さらに一味を加えています。若さ溢れる作品の数々を存分にご賞味ください。

開催日 2010年11月19日(金)~28日(日)12:00~19:00
会場 元・立誠小学校(京都市中京区蛸薬師通河原町東入備前島町310-2)
主催 公益財団法人大学コンソーシアム京都
企画・運営 京都学生芸術作品展実行委員会
 京都学生芸術作品展学生マネジメント委員会
参加大学 池坊短期大学、大阪成蹊大学芸術学部、京都市立芸術大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、京都嵯峨芸術大学、京都嵯峨芸術大学短期大学部、京都精華大学、京都造形芸術大学、京都橘大学、成安造形大学(五十音順)
賞および副賞 京都府知事賞(賞金5万円)、京都市長賞(賞金5万円)、大学コンソーシアム京都理事長賞(賞金3万円)、フラットエージェンシー賞・ホルベイン賞・オーディエンス賞(賞品)
関連イベント(共に無料) ワークショップ
 「まっくらくろすけ!~すみで表現しよう~」(要申込)
 2010年11月23日(火・祝)14:00~16:00
 元・立誠小学校
 写真家・甲斐扶佐義講演会
 「京都にもひとつの大文字は可能か」
 2010年11月27日(土)14:00~15:30
 元・立誠小学校
講師: 甲斐扶佐義(かい・ふさよし)氏
 写真家、京都出町「ほんやら洞」、木屋町「パー八文字屋」オーナー
 第22回京都美術文化賞受賞(2009年)

◆ 大学みらい塾

特定分野の業務スキルに関する内容ではなく、広く高等教育の課題や大学マネジメントに関わる重要事項について学ぶことを目的とし、高等教育や大学運営に関心のあ



る全ての人に広く参加を呼びかけ、大学の未来を皆で考えることを目指します。詳細は本財団のホームページ等をご参照ください。

開催日時	テーマ	講師	会場
11月20日(土) 14:00~16:00	大学の教育力	友野 伸一郎氏 (ジャーナリスト)	キャンパス プラザ京都
11月27日(土) 14:00~16:00	私学経営状況・ 補助金	山本 雅淑氏 (日本私立学校振興・ 共済事業団私学経営 情報センター長)	
12月10日(金) 18:30~20:30	職員の育成	大島 英徳氏 (立命館大学 教学部事務部長)	大谷大学
12月17日(金) 18:30~20:30	高等教育	田中 義郎氏 (桜美林大学 総合研究機構長 教授)	

◆ 第13回京都国際学生映画祭

今年で13回を迎える京都国際学生映画祭は、京都で学生が主体となり企画・運営を行っている日本最大規模の自主制作映画の国際学生映画祭です。学生が企画した様々なプログラムをとおり、制作者同士や観客との交流の場を設け、学生の視点から映画の新しい可能性を発信していくことを目指しています。

開催日 2010年11月27日(土)~12月4日(土)
会場 【京都シネマ】 11月27日(土)~12月3日(金)
 【池坊短期大学こころホール(授賞式)】 12月4日(土)
企画概要 (1)コンペティションプログラム
 国内外から集まった学生映画207本を、学生実行委員が審査し入選作品を決定。入選作品の中から、現在映画・映像関係の現場において第一線で活躍されている方々による最終審査を経て、グランプリと特別賞を決定する。
 今年度より短編(20分以下)・長編(20分超)の2部門を設立
 (2)特別企画
 ・京都学生プログラム(仮)
 ・最終審査員作品上映
 ・『カントリーガール』上映企画(仮)
 (3)連携企画
 ・京都府高等学校芸術文化連盟放送専門部連携企画
 ・第22回東京学生映画祭作品相互上映
 ・オーバーハウゼン国際短編映画祭連携企画(仮)
主催 公益財団法人大学コンソーシアム京都
企画運営 第13回京都国際学生映画祭実行委員会
料金 ・フリーパス券:1,000円(8日間利用可)
 本祭期間中すべてのプログラムに適用するフリーパス券
 ・1プログラム券:500円
 すべてのプログラムのうち1プログラムに適用

◆ 第8回高大連携教育フォーラム

「高大連携教育フォーラム」は、全国各地から高等学校・大学の関係者が多数参加し、高等学校・大学間の連携・接続問題における「国内動向の情報共有と京都における取り組みの情報発信、および事例研究」を開催趣旨として、大学コンソーシアム京都も加盟する「京都高大連携研究協議会」の主催により開催されています。第1部は基調報告・シンポジウム形式にて、第2・3部では各テーマ設定に基づき、高等学校・大学の現状を報告し、意識共有・情報交換を行う分科会形式にて開催します。

開催日 2010年12月3日(金) 9:30~17:00(予定)
会場 キャンパスプラザ京都
プログラム 第1部
 テーマ「新しい時代に求められる能力をどう育成するか
 ~高大接続テストの持つ意味~」
 基調報告:佐々木隆生氏(北海道大学公共政策大学院 特任教授)
 基調報告終了後にシンポジウムを予定しています。
 第2部
【分科会】 「キャリア」・「入試」
 第3部
【分科会】 「表現技法」・「数学」・「英語」・「理科」
参加費 京都府内の高等学校・大学関係者1,000円・それ以外2,000円
申込方法 本財団のホームページからWEBにて申込(先着順)
 各分科会詳細や申込方法等詳細は、ホームページでも公開します。

—Kyoto Intercollegiate Festa—

第8回京都学生祭典

主催:京都学生祭典実行委員会

1日目

10月9日(土)13:00~18:00
京都駅ビル、京都駅前地下街ポルタ

Opening Ceremony

祭典の開催を告げるセレモニー!
京都駅ビル室町小路広場
13:00~13:30

Kyoto Student Music Award

全国学生音楽コンテスト
京都駅ビル室町小路広場
13:30~18:00

Kyoto Fashion Expo ~SAI~

美を見て、感じて、楽しんで
京都駅前地下街ポルタ
13:30~16:30

KYO-SENSE博

次世代ライフスタイルを発信
ホテルグランヴィア京都前広場
13:30~17:30

2日目

10月10日(日)11:00~20:15
平安神宮、岡崎公園一帯

JINGU Opening Parade

2日目幕開けを彩るパレード
神宮道
12:40~13:10

京炎 そでふれ! 全国おどりコンテスト

全国規模のおどりコンテスト
神宮道
13:10~17:30

Dream Orchestra

1日限りの夢の学生オーケストラ
京都会館第一ホール
13:30~16:00 入場制限有り

縁日

おなかいっぱい☆笑顔いっぱい!
岡崎グラウンド園路、岡崎都市公園
11:00~18:00

げんきっずスタジアム 2010

子どもたちが楽しく遊べる夢の空間!
岡崎グラウンド
11:00~17:30

Grand Finale

京都学生祭典の集大成
平安神宮境内
18:20~20:15

◆ 第8回京都学生祭典のご案内

産・学・公・地域の協力のもと、学生プロデュースで京都を盛り上げる秋の祭「京都学生祭典」。第8回では、「記憶に残る祭、愛される祭」をコンセプトに、来場者の方々の記憶に残り、地域の方々や京都学生祭典に関わる全ての方から愛される祭を目指します。

1日目は、京都駅ビルで行う全国学生音楽コンテスト「Kyoto Student Music Award」、企業の最先端のエコ技術などを紹介する「KYO-SENSE博」や、新たな企画として京都駅前地下街ポルタにて国際化をテーマとした学生ファッションショーを開催します。

2日目は、「京炎 そでふれ!全国おどりコンテスト」、海外の料理も楽しめる飲食ブースが集まる「縁日」、学生オーケストラによる「Dream Orchestra」など学生から一般の方々まで楽しめる企画を用意しております。そして、第8回京都学生祭典の最後を飾る「Grand Finale」では、来場者・出演者とともに京都学生祭典オリジナル創作おどり「京炎 そでふれ!」の総おどりをを行い、平安神宮境内を熱気で包み込みます。ぜひ、ご来場ください!!!

お問い合わせ

京都学生祭典実行委員会

T600-8216

京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都内

TEL:075-353-9432 FAX:075-353-9431

<http://www.kyoto-gakuseisaiten.com>

京都ノートルダム女子大学

徳と知50年 世界へ 未来へ

徹底した少人数制をとり、一人ひとりにあたたかい、成長の実感できる教育を実践。2011年には創立50周年を迎え、「北山キャンパス総合整備計画」など教育研究環境の更なる充実と新たな飛躍をめざしています。

キャリアセンターでは、4年間の段階的キャリア形成プログラムと社会的・職業的自立に関する指導により徹底した就業力育成を行い、毎年92%以上の就職率を維持している本学ならではのきめ細かな就職支援体制を整えています。



WORLD SCENE